

一般社団法人日本子育て支援協会
講師
岩本久実子氏



女性は出産し母親になると、優先順位が全てにおいて子どもになります。そしてママ自身の目線も親戚家族などの周囲の関心も常に子どもに向くようになり、いつの間にか自分のことはおいてけぼり・なんてことも。

子育て中のママへ「美容院へはどのくらいの間隔で行きますか？」とアンケートを実施したところ、「5ヵ月以上」と答えた方が29.5%にのほりました。（ミキハウス子育て総研(株)「美容院にいきますか？アンケート」より）こんなアンケートからもつつい自分のことは後回し・が垣

一人の花嫁として輝く素敵なパパママ・キッズ婚 ママである新婦に一人の女性としてスポットライトを当てる必要

間見えます。

そんなママ新婦にスポットを当てじっくり話を引き出していくと、実はあんなことがしたい！と無意識に蓋をしていた自分の気持ちが姿を現してくるものです。

パパママ・キッズ婚の場合、“お子さまと一緒に”というフレーズがキーワードになりますが、それだけではなく“ママである新婦が一人の女性として輝く日”ということも大切なキーワードなのです。

ここでパパママ・キッズ婚での新規案内や打合せのポイントをご紹介します。

『ママ新婦への丁寧なヒアリング』

パパママ・キッズ婚はスケジュールや予算など不安を抱えていたり制限があったりすることが多く、それをプラン

ナーが受け止め調整していくことが第1段階ですが、次にママである新婦が一人の女性としてどのような思いをもっているのか、どんな花嫁になりたいのかをヒアリングしてみましょう。結婚に至った経緯や、産前産後の気持ちの変化、出産前の趣味などをママ新婦から引き出していくと、本人も気づかなかった、あるいは忘れていた思いが見えてきます。その思いを結婚式のテーマに盛り込んでいくことがお勧めです。

『結婚式への想いを深める』

“結婚式は、女性が一番輝く特別な日”ということを改めてプランナーから伝え、結婚式を挙げる本来の喜びや幸せを実感してもらえようようなストーリー作りに注力。結婚

式への想いを膨らませ、女性としての幸せを実感することにより、ママ新婦だけでなく家族全員にとってもパパママ・キッズ婚当日の重みがより大きなものになります。

このようにママ新婦へスポットを当てていくと、“けじめとして”を主な動機として考えていた新婦ほど、自分自身の結婚式の満足度が高まっていくものです。

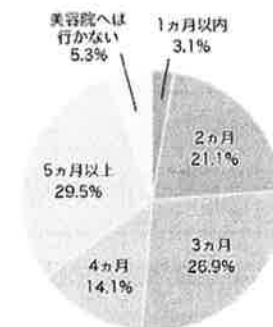
余談ですが、子どもは親の背中を見て育つ、なんて言われますが、親の笑顔や幸せな姿が見られることは子どもにとって大きな喜びとなり、安定した心の成長にも影響が与えられると言

われています。（「NPO法人ハートフルコミュニケーション」より）

パパママ・キッズ婚を通して見られるパパママの幸せが子どもの幸せへとつながるといことも、潜在層への訴求になるかもしれません。

パパママ・キッズ婚はスポットの当て方次第で様々な幸せの形を生み出す結婚式なのです。

Q. 美容院には、どのくらいの間隔で行きますか？



Weekly ゴーリサーチ「美容院にいきますか？アンケート」（2013年10月）より